



# 北海道

## 早期発見のためにがん検診を受けましょう

がんは、死亡原因の一位となっており、現在、およそ3人に1人の方ががんで亡くなっています。

また、日本人の2人に1人ががんになる可能性があり、命を落とす人も多いですが、がん医療はめざましい進歩を遂げ、早期発見・早期治療によりがんで死亡するリスクは減らすことができます。

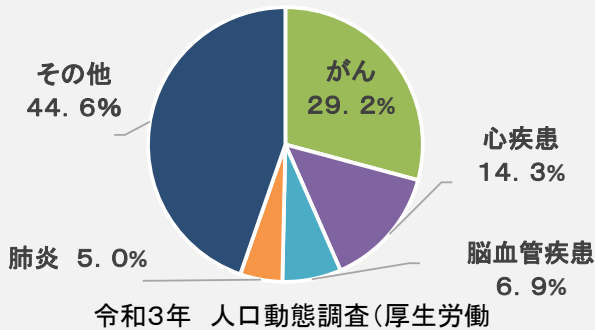
早期発見のためには、定期的ながん検診を受けることが大切です。

**是非、定期的ながん検診を受けましょう。**

### がんは、人ごとではありません。

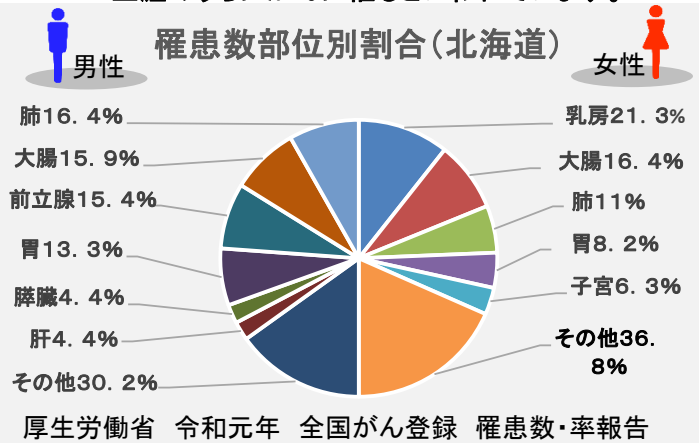
北海道の令和3年におけるがんによる死亡者は20,136人で、全死亡者の約3分の1を占めています。

#### 北海道の死亡原因の割合



### こんながんが多くなっています。

がんの部位別罹患割合を見ると、**男性では肺・大腸・前立腺が多く、女性では乳房・大腸・肺が多くなっています。**国の推計では**2人に1人**が生涯のうちにがんに罹患といわれています。



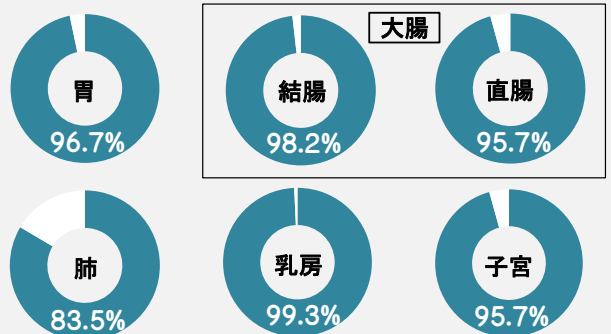
### 早期発見のための、がん検診とは？

道内の市町村では以下の5種類のがん検診を実施しています。詳しくは、**お住いの市町村**にお問い合わせ下さい。  
〔お勤めの方は、職場の健診で受診できる場合があります。〕  
福利厚生または医療保健の担当窓口にご確認ください。〕

### がんは、治せる時代です。

がんは以前、「死」をイメージする恐ろしい病気でしたが、現在は**早期発見すれば治る可能性が高い**病気になりました。**早期発見を心がけることはとても大切です。**

#### 早期にがんが発見された方の5年後の生存率



※ 地域がん登録における臨床進行度別5年相対生存率（2009-2011年診断例）  
がんの進行が限局（がん病巣ががんの発生臓器のみに限られている）の場合  
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」

### いつ受ける？ どれから受ける？ がん検診



【 この資料に関するお問い合わせ先 】  
北海道保健福祉部健康安全局地域保健課  
TEL:011-204-5117

#### 胃がん検診

50歳以上  
2年に1回

※当分の間、胃部X線検査については40歳以上に対し年1回実施可

- 胃部X線検査  
バリウム（造影剤）と発泡剤（胃を膨らませる薬）を飲み、X線で胃の形や粘膜を撮影します
- 胃内視鏡検査  
口や鼻から内視鏡を挿入し、先端についている超小型のカメラで胃の中の様子を直接モニター画面に映し出して観察します

#### 肺がん検診

40歳以上  
年1回

- 胸部X線検査  
肺全体をX線で撮影する検査です
- 喀痰細胞診（医師が必要とした場合実施）  
痰にがん細胞が混ざっていないか調べます

#### 大腸がん検診

40歳以上  
年1回

- 便潜血検査  
便の中の血液を調べ、大腸内の出血の有無を調べます

#### 乳がん検診

40歳以上  
2年に1回

- 乳房X線検査（マンモグラフィ）  
乳房を装置で挟み、圧迫してX線で撮影する検査です

#### 子宮がん検診

20歳以上  
2年に1回

- 細胞診  
子宮の細胞を採取し、顕微鏡で診察します